

## 水道連結型スプリンクラー設備 **SPlash** 電動弁ユニット施工要領書

この度は、MVCJ004-25型電動弁ユニットをご購入頂きまことにありがとうございます。

本機器はグループホーム向けの水道連結型スプリンクラー設備（乾式）に使用する機器です。専用のスプリンクラー制御盤（MUWJ001-N）に接続し、他の制御盤では使用しないでください。

### 1. 安全上の注意

- ご使用の前に、注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は設備を正しく施工するためのもので、関係者への危害や損害を未然に防止することを目的としています。
- 危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。

「警告」：内容を守らなかった時に、関係者が死亡または重傷を負うかまたは防災機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合

「注意」：内容を守らなかった時に、関係者が重傷や障害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合または防災機能の一部に悪影響を及ぼすことが想定される場合

絵表示の見方

 「一般的な指示」事項を示す

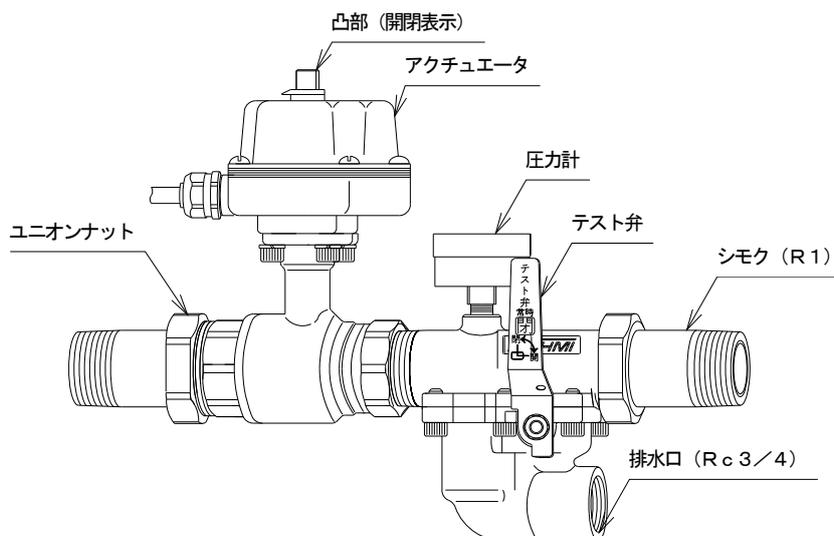
 警告	アクチュエータおよび電動弁ユニット本体の分解・改造は絶対に行わないでください。
---	---

 注意	保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ -10℃以下の低温、または50℃以上の高温環境、多湿環境、振動のある場所、腐食性ガスの雰囲気には保管しないでください。</li> <li>・ 配管施工するまで梱包箱の中で保管し、ごみ、ほこりが製品内部に入ることを防ぐために、樹脂製保護キャップは施工直前まで取り外さないでください。</li> <li>・ 運搬保管の際、製品を落下させたり、衝撃を与えたり、製品に過度の荷重を掛けしないでください。</li> </ul>
	取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手で電動弁を開放する場合には、制御盤から電源が供給されていないことと回転方向が正しいことを確認し、20秒以上掛けてゆっくりと廻してください。無理に廻すとアクチュエータが破損する場合があります。</li> </ul>
	配管施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管施工する場合には、施工要領書（TN20273）を参照してください。</li> <li>・ 本製品を配管に接続する前に、配管内の堆積物などのごみを除去してください。</li> <li>・ 本製品を配管施工する際、アクチュエータが上向きになるように設置してください。</li> <li>・ 電動弁ユニットの交換及び法定点検が可能なスペースを確保してください。</li> <li>・ 電動弁ユニット本体に異常な曲げ応力が掛からないように、適宜サポートを設け配管の中心軸が一直線になるように施工してください。電動弁ユニット本体に異常な曲げ応力が働くと、接合部から漏る場合があります。</li> </ul>

<b>!</b> 注意	耐圧試験	・特に空気圧で耐圧試験をする場合、ガスケットから漏れる可能性がありますので、もう一度、耐圧試験前にユニオンナットを増し締めしてください。
	結線	・スプリンクラー制御盤への結線を間違えないように注意してください。 結線については、スプリンクラー制御盤に同梱してある施工設定要領書（TN60055）を参照してください。
	動作確認	・スプリンクラー制御盤からの遠隔操作で正常に90度開閉し、異常がないことを確認してください。

## 2. 構造と仕様

製品の構造と仕様は以下の通りです。

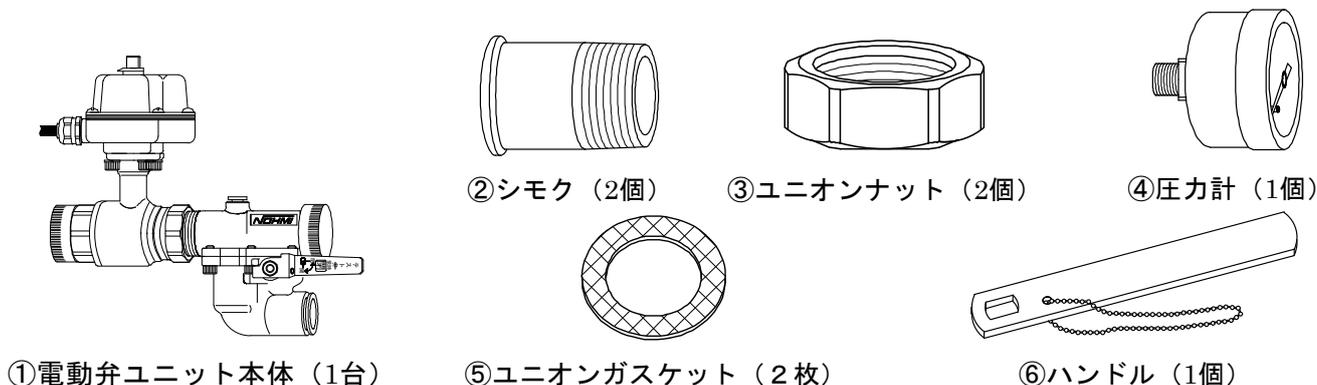


### 仕様

型名	MVCJ004-25	定格電圧・電流	DC24V, 0.1A (起動時0.55A)
型式承認	日本水道協会認証登録番号：E - 601	適応流体	水道水およびそれに準ずる水
口径	25A	開閉時間	約4秒
使用温度範囲	-10~50℃ (ただし、弁部の凍結なきこと)	質量	約3.7kg (ハンドル含む)
最高使用圧力	1.0MPa	外形寸法	H209mm × W300mm × D112mm

## 3. 梱包内の部品

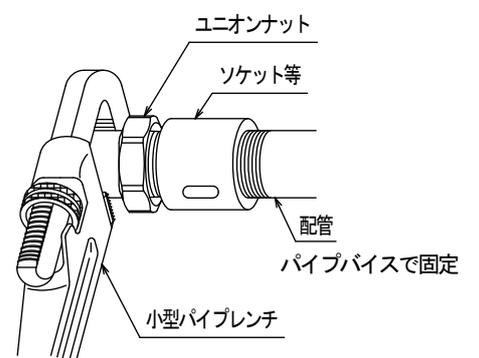
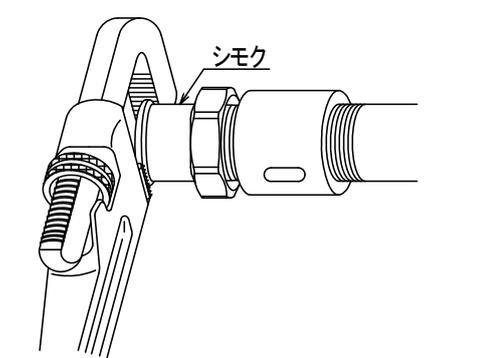
梱包されているものは以下の部品です。



4. 施工

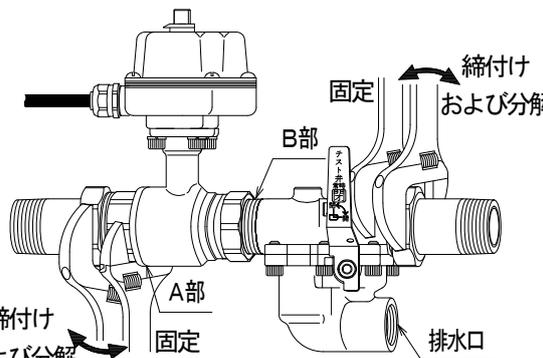
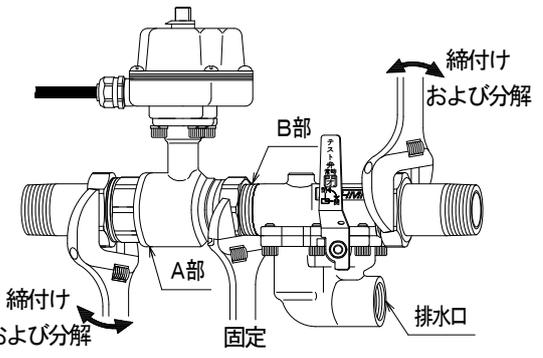
4-1. シモクの配管ねじ込み

- ・シール剤：シモクに、シールテープまたはシール剤を適量用いてください。シール剤などがシモク内面に付いた場合には、拭き取ってください。製品内部にシール材が入り込むと、漏れなどの原因になります。
- ・ねじ込み：あらかじめユニオンナットをシモクに差し込んでください。  
配管をパイプバイスなどで固定し、シモクの胴部に小型パイプレンチを掛け、標準締付トルク（50～60N・m）を目安にねじ込んでください。  
シモクのねじ部およびツバ部にパイプレンチを掛けると傷付き、漏れなどの原因となります。

○ 良い例 (胴部にパイプレンチを掛けている)	× 悪い例 (ツバ部にパイプレンチを掛けている)
	

4-2. ユニオン部の接続

- ・取付方向：電動弁ユニット本体に流れ方向の矢印が表示されています。方向を確認してください。
- ・シール剤：ユニオンのねじ部には、シール剤を使用しないでください。
- ・ガスケット：電動弁ユニット本体およびシモクのガスケット座面に傷が付かないように、取り扱いには注意してください。
- ・ユニオンナットの締付：下図左側のように、スパナ（パイプレンチは使用しないでください）を掛け、標準締付トルク（70～80N・m）を目安にねじ込んでください。下図右側のようにレンチを掛けると、緩みによりA,B部から漏れたり、締りにより電動弁が破損する原因となります。（排水口のねじ込み時もA,B部に回転力が掛からないように施工してください。）

○ 良い例 (接続部のA,B部には負荷が掛からない)	× 悪い例 (接続部のA,B部に大きな負荷が掛かる)
	

- ・通水：液状シール剤等を使用した場合は、メーカーが推奨する養生時間を置いた後、通水してください。

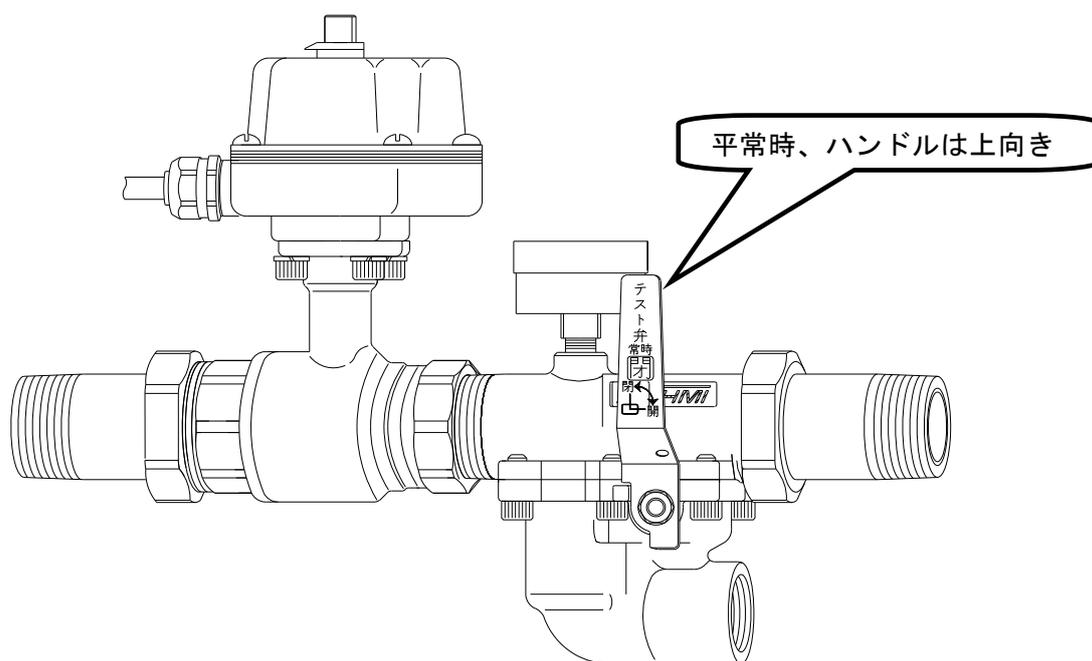
5. 平常時のお願い

平常時、テスト弁は閉状態とします。電動弁ユニットの設置方向によっては、テスト弁の開閉表示が壁面を向きテスト弁の開閉の位置表示が見えなくなる場合があります。その場合には、必要に応じてこのページを電動弁ユニットの近くに表示し、テスト弁開閉表示の裏側からでもハンドルの位置により開閉状態が確認できるようにしてください。



**注意**

- ・ 平常時、テスト弁は閉状態を保持してください。テスト弁が開状態であると火災の時に規定の放水圧力が得られません。
- ・ テスト弁のハンドルが上を向いていると、閉状態です。
- ・ 法定点検終了時には、テスト弁が閉止していることを確認してください。



**電動弁ユニット平常時状態図**

### 能美防災株式会社

本社：〒102-8277 東京都千代田区九段南4丁目7番3号 消火設備本部 (03)3265-0283

支社／	北海道 (011)746-6911 茨城 (029)225-2600 横浜 (045)682-4700 金沢 (076)252-6211 岡山 (086)244-4222	東北 (022)221-2695 千葉 (043)266-0303 長野 (026)227-5521 大阪 (06)6330-8661 九州 (092)712-1560	新潟 (025)243-8121 北関東 (048)669-2255 静岡 (054)247-3211 京都 (075)694-1192	丸の内 (03)3213-1781 西関東 (042)643-1520 中部 (052)915-2411 中国 (082)510-1125
営業所／	旭川 (0166)35-7824 郡山 (024)947-1194 杉並 (03)3306-0451 宇都宮 (028)637-4317 沼津 (055)923-9669 福井 (0776)21-0056 長崎 (095)845-0135 鹿児島 (099)253-8196	青森 (017)729-0532 福島 (024)528-4195 城東 (03)3626-2461 群馬 (027)328-1567 浜松 (053)473-3422 神戸 (078)334-3581 大分 (097)543-2778 沖縄 (098)862-4297	盛岡 (019)645-0552 羽田 (03)5757-9393 五反田 (03)3779-9737 埼玉西 (049)247-4640 三重 (059)226-9860 四国 (087)868-6811 熊本 (096)360-1051	秋田 (018)862-5086 渋谷 (03)3461-1051 土浦 (029)822-3851 川崎 (044)233-5773 富山 (076)444-1450 北九州 (093)583-3344 宮崎 (0985)28-8792
工場／	三鷹 (0422)44-5141	メヌマ (048)588-1531		